



平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月9日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 大森 渉

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 平成24年3月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	12,606	43.6	512	—	345	—	55	—
23年4月期第3四半期	8,777	△11.9	△306	—	△481	—	△423	—

(注) 包括利益 24年4月期第3四半期 26百万円 (—%) 23年4月期第3四半期 △478百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	2.13	—
23年4月期第3四半期	△16.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第3四半期	16,685	2,321	13.5
23年4月期	15,561	2,281	14.2

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 2,252百万円 23年4月期 2,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	19.2	600	249.2	400	—	150	—	5.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期3Q	26,050,000 株	23年4月期	26,050,000 株
② 期末自己株式数	24年4月期3Q	50,014 株	23年4月期	49,964 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期3Q	25,999,995 株	23年4月期3Q	26,001,219 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により影響のあった物流機能の復旧などにより生産活動が正常化し、景気を持ち直しの動きもみられましたが、欧州の債務危機や米国景気の低迷、タイでの大規模な洪水の発生などにより海外での不確実性の高まりや円高傾向の長期化により、国内でも先行きの懸念が増加しております。

当グループ主力の水産業界におきましても、東日本大震災の影響による消費者の生活防衛意識の高まり等により魚価の低迷が続き、被災地の復旧も少しずつしか進展しない中、全般的に漁獲量も低調であり、業界を取り巻く環境は、厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当グループは、営業面では、被災した漁場へ海洋サポート室を中心とした調査チームを派遣し、海中での漁場調査を行い、取引先のバックアップを行える体制を整えるとともに、製造面では、漁網の受注に備えるため、主力工場の勤務体制を3交替制にして、生産量の確保に努めました。

また、前連結会計年度の期末において震災の影響で納期がずれ、当第3四半期連結累計期間に売上高が計上されたものがあること、前連結会計年度に事業の一部を譲受けた部門の売上高が増加したこと、被災地における定置網及び船舶等の復興需要による売上高が計上できたこと等により、売上高は前年同期と比べ大幅に増加しました。利益面は、売上高の増加が大きく影響し、経費削減効果等もあり、営業利益を計上することができました。営業外損益は、前年同期と比べ大きな変動はありませんでしたが、長引く円高の影響により、2期連続で為替差損の計上となりました。特別損益では、遊休資産の売却による固定資産売却益を計上しましたが、前連結会計年度末では判明しなかった災害による損失及び投資有価証券評価損が発生しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,606百万円（前年同期比43.6%増）、営業利益は512百万円（前年同期は306百万円の損失）、経常利益は345百万円（前年同期は481百万円の損失）、四半期純利益は55百万円（前年同期は423百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

〔漁業関連事業〕

売上高は10,496百万円（前年同期比47.5%増）となりました。主な要因としては、養殖用網の売上高が増加したこと、漁船や定置網等で被災地の復興需要に伴う売上高が計上されたこと及び前連結会計年度にベニートヤマ株式会社から事業の一部を譲受け、海苔網等の売上高が増加したこと等により、売上高は大幅に増加しました。利益面では、売上高が増加したこと及び経費削減策の実施等によりセグメント利益は457百万円（前年同期は279百万円の損失）となりました。

〔陸上関連事業〕

売上高は1,931百万円（前年同期比20.2%増）となりました。主な要因としては、節電対策等により防虫ネットの売上高が増加したこと、震災の影響で納期が遅れていた工事等が竣工したこと等によるものです。利益面では、売上高の増加、貸倒引当金戻入益が発生したこと等により、セグメント利益は50百万円（前年同期は23百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,124百万円増加し、16,685百万円となりました。その主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,346百万円増加し、12,596百万円となりました。これは、主に売上債権及びたな卸資産の増加等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ217百万円減少し、4,073百万円となりました。これは、主に減価償却により有形固定資産が減少したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ95百万円減少し、10,080百万円となりました。これは、未払法人税等は増加しましたが、仕入債務及び短期借入金の減少等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ1,179百万円増加し、4,283百万円となりました。これは、長期借入金の増加等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ39百万円増加し、2,321百万円となりました。これは、四半期純利益の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期の連結業績予想につきましては、平成23年12月9日に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年5月1日以降開始する連結会計年度より法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から、平成24年5月1日に開始する連結会計年度から平成26年5月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.8%に、平成27年5月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.4%となります。

なお、この税率変更による当第3四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	906,177	1,037,497
受取手形及び売掛金	6,835,903	7,362,037
商品及び製品	2,197,055	2,594,514
仕掛品	548,383	610,688
原材料及び貯蔵品	694,726	893,542
繰延税金資産	65,332	46,014
その他	586,501	603,829
貸倒引当金	△584,524	△551,808
流動資産合計	11,249,555	12,596,317
固定資産		
有形固定資産	2,728,648	2,603,770
無形固定資産	180,527	153,112
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,457,160	1,419,631
その他	670,120	673,999
貸倒引当金	△745,335	△776,712
投資その他の資産合計	1,381,945	1,316,919
固定資産合計	4,291,120	4,073,802
繰延資産	20,969	15,577
資産合計	15,561,645	16,685,696

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,401,718	3,236,246
短期借入金	5,739,716	5,611,901
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	31,161	222,605
賞与引当金	59,501	75,146
その他	743,203	734,339
流動負債合計	10,175,302	10,080,238
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	1,201,786	2,378,121
長期未払金	215,404	173,675
退職給付引当金	429,890	484,206
役員退職慰労引当金	41,496	54,475
繰延税金負債	157,795	157,795
その他	58,093	35,483
固定負債合計	3,104,466	4,283,757
負債合計	13,279,768	14,363,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,292	510,292
利益剰余金	612,751	668,020
自己株式	△7,664	△7,669
株主資本合計	2,494,204	2,549,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76,596	△61,314
為替換算調整勘定	△203,408	△235,422
その他の包括利益累計額合計	△280,005	△296,737
少数株主持分	67,677	68,969
純資産合計	2,281,876	2,321,701
負債純資産合計	15,561,645	16,685,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	8,777,760	12,606,661
売上原価	7,413,623	10,402,213
売上総利益	1,364,136	2,204,448
販売費及び一般管理費		
運搬費	107,441	133,203
貸倒引当金繰入額	84,419	63,981
役員報酬	90,761	88,164
従業員給料及び手当	624,323	651,060
賞与引当金繰入額	14,155	23,369
退職給付費用	59,108	42,047
役員退職慰労引当金繰入額	14,437	12,979
旅費及び交通費	129,035	144,879
減価償却費	45,906	44,304
その他	501,458	488,036
販売費及び一般管理費合計	1,671,048	1,692,026
営業利益又は営業損失(△)	△306,911	512,421
営業外収益		
受取利息	29,137	33,588
固定資産賃貸料	6,470	4,469
受取保険金	—	30,713
その他	63,404	54,423
営業外収益合計	99,012	123,194
営業外費用		
支払利息	156,302	158,139
手形売却損	40,860	44,698
為替差損	65,932	64,766
持分法による投資損失	698	13,604
その他	9,985	9,047
営業外費用合計	273,778	290,257
経常利益又は経常損失(△)	△481,677	345,358
特別利益		
固定資産売却益	3,782	13,908
退職給付制度改定益	5,821	—
特別利益合計	9,603	13,908
特別損失		
災害による損失	—	25,787
固定資産除却損	8,026	4,440
投資有価証券評価損	1,834	18,011
特別退職金	141	—
その他	342	—
特別損失合計	10,345	48,239

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	△482,419	311,027
法人税、住民税及び事業税	9,972	232,363
法人税等調整額	△62,501	22,104
法人税等合計	△52,529	254,467
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△429,890	56,560
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△6,265	1,290
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△423,624	55,269

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△429,890	56,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,665	15,282
為替換算調整勘定	△19,571	△32,013
持分法適用会社に対する持分相当額	△698	△13,604
その他の包括利益合計	△48,935	△30,335
四半期包括利益	△478,825	26,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△472,562	24,932
少数株主に係る四半期包括利益	△6,262	1,291

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,116,859	1,605,938	8,722,798	54,961	8,777,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,116,859	1,605,938	8,722,798	54,961	8,777,760
セグメント損失(△)	△279,377	△23,237	△302,614	△4,297	△306,911

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械・搬送設備等を含んでおります。

2 セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,496,829	1,931,066	12,427,896	178,765	12,606,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,496,829	1,931,066	12,427,896	178,765	12,606,661
セグメント利益	457,132	50,979	508,111	4,309	512,421

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械・搬送設備等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成24年1月31日)

該当事項はありません。